

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	○食事を楽しむことのできる支援 外で食事を楽しんで頂ける様計画するも、嚥下状態や食事制限のある方が参加できにくく、片寄た方になっている。	個々の状態を把握し、外で食事を楽しんで頂ける様にする。	個々に食べたい食事を聞き取り、栄養科と話し合い、入居者様が外で食事を楽しんで頂ける計画をグループホーム会議で協議し計画する。	12ヶ月
2	48	○役割、楽しみごとの支援 入居者様の身体能力の低下に伴い、軽作業・レクリエーションが出来ない。	個々の状態に合った役割や楽しみ方を理解し、日常生活の中で、できる事を引き出し、楽しみへの支援に繋げる。	入居者様のできる事を勧め、グループホーム会議で協議し、役割や楽しみが提供できる介護計画を作成し提供する。	12ヶ月
3	36	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 同じ言葉を繰り返す入居者様に対し、言葉かけを行う際、強く言ってしまう事がある。「何度も言わなくてもわかる」等。	入居者様の思いを尊重し、言葉かけを行う。	職員間で入居者様の思いを尊重し、言葉かけに配慮する。 グループホーム会議で、言葉掛けについて職員間で話し合い、振り返りを行う。 勉強会・研修会で参加し介護技術を構築する。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。